

背景と目的

なぜ、地域に開かれた安全・安心な学校づくりについて話そうとしているのか

新たな時代の学校と地域との関係

- **子どもたちの発達の過程における、自然体験や社会体験など様々な「体験」の重要性**
保全された自然環境が減少し、核家族化の進行等による世代間交流が少なくなっています。このような社会環境において、学校と家庭のみを中心とした子どもたちの日常生活では、「体験」の機会を十分に得ることが難しい状況となっています。
- **「総合的な学習の時間」や「完全学校週5日制」の本格始動、生涯学習社会の進行**
学校と地域が連携した教育活動や地域活動など、子どもたちが地域社会と関わる機会が増えています。また、学校は、家庭・地域社会を含めた学習の中心として、生涯学習の基礎を培う役割が期待されています。
- **高齢化や核家族化、都市化などによる近隣関係の希薄化と新たなコミュニティ活動**
地縁のコミュニティが弱まっている一方で、個人の興味・関心に根ざした自発的な活動による「子育て」「福祉」「学び」「健康づくり」などの生活支援が多様に進められています。

開かれた学校づくりが求められている

「学校・家庭・地域社会」の連携

子どもたちの育成環境の総合的な充実に向け、学校と家庭、さらに地域の人々との連携を図り、地域に開かれた学校づくりが期待されています。

新たな時代の教育への対応

「まち全体が大きな学校」ととらえ、子どもから大人までがともに学び合える、地域に開かれた学校づくりが期待されています。

地域コミュニティの拠点形成

地域づくりに参加するには、個人の意思で選択された積極的なコミュニティ活動が注目されており、その拠点として、地域に開かれた学校づくりが期待されています。

なお、「地域に開かれた学校づくり」に当たっては、ハード面(学校施設面における安全確保等)及びソフト面(危機管理マニュアルの作成、連絡体制の整備、訓練・研修、安全に配慮した学校開放等)にわたる安全管理を行い、子どもたちの安全確保を図ることが絶対の条件です。

安全・安心な学校づくりが求められている

- 子どもたちの学習の場が地域へ広がっています。
- 地域・学校における犯罪が増えています。
- 大規模災害に対する不安が増えています。



- 子どもたちの安全確保・学校の安全管理が求められています。
- 地域の防災・防犯のための活動の中心的存在として、学校の重要性が増えています。



- 学校を含む地域全体の安全に対して視点を広げるにより、学校の安全・安心を高めていく取組が重要です。
- 子どもたちや教職員も含めた地域に暮らす一人一人が、学校を含む地域全体に関心を払うことが大切です。
- 安全・安心な学校づくり・まちづくりに有効な環境設計が求められます。



そのために…

地域に開かれた学校づくりから、安全・安心な学校づくりを生み出そう。

「地域に開かれた学校づくり」が、地域住民のまちづくりへの参加のきっかけとなり、安全・安心に対する意識の向上、様々な地域の課題に取り組むことができるコミュニティ形成など、安全・安心なまちづくりと結び付くことにより、「学校は地域でいちばん安全・安心な場所」となっていきます。